



水と緑 人のいきかう 高島市



たかしま

Takashima

2008
9.1
平成20年
No.74



これまで守り育ててこられた学校林を伐採し、朽木東小・朽木中学校の合同体育館づくりに使うため、先輩方と自然の恵みに感謝する伐採開始のつどいが8月17日、朽木中学校の生徒やそのOBらの参加のもと、朽木荒川の朽木中学校林内で行われました。新しい体育館には、高島市有林から合計約1,800本のスギを伐採して使用し、その4分の1にあたる約450本がこの学校林から伐採されます。

(朽木中学校学校林「黎明の集い」で)

●特集 ②-⑤ はじめてみましょう 健康づくり

- ⑥-⑨ お知らせ拡大版
- ⑩ みんなで5・7・5
- ⑪ 市長日記・省エネ長者作戦
- ⑫・⑬ まちネタ写真館
- ⑭ 健康生活
- ⑮ びょういんだより

- ⑯ 教育委員会 information
- ⑰ 国保年金あらかると
- ⑱-㉑ 情報おしらせ版
- ㉒ そうだ図書館に行こう♪
- ㉓ 窓口・納税
- ㉔ 歴史散歩

広報たかしま
(平成20年9月1日号)

第74号

■発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒522-0150 滋賀県高島市新旭町北畠565番地 (07440)81-30

http://www.city.takashima.shiga.jp
t-info@city.takashima.shiga.jp



今年3月28日、国の重要文化的景観に選定された「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」は、古くから水辺で続けられてきた生活文化が作り出す文化的な風景として、全国的にも高い評価を得ています。

この地域は、日本海と琵琶湖を経て京都・大阪とを結ぶ湖上・陸上交通網の拠点として、古くから多くの人馬や荷物が行き交ったところで、現在でも宿場町・港町の面影を色濃く残しています。一方で、アユ漁を

中心とした琵琶湖の漁業の拠点としても発達し、それに伴った伝統的漁法や水産物の加工技術等が地域に伝わり、さらにそれに関係する建物や施設、漁具類なども数多く残されています。

特に、この地域の特徴的な景観として写真等でも紹介されることの多い、海津・西浜の湖岸に続く石積みは、元禄時代に波除けのために築かれたものと伝えられ、江戸時代の地域の様相を今に伝える貴重な文化財です。その他にも、水路や内湖のなごりやイケと呼ばれる共同井戸といった水辺の生活を語るものの、江戸時代の宿場町としての発展を物語る町家建築など、文化的景観にふさわしい要素が随所に残されています。

また、地域には数多くの寺院や、石灰の生産・出荷で栄えた大正・昭和初期に建てられた趣向を凝らした民家、地域の浜辺や湿地に生息する貴重な植物など、普段はあまり紹介されることの少ない文化財が存在することも、調査によつてあきらかになりました。市では、この海津・西



▲高島市海津・西浜・知内の水辺景観

守り継がれてきた風景へ

へりがたの重要な文化的景観

No.45



いい世さ 来い、来い！

編集後記

高島市歴史散歩

浜・知内地区に残された素晴らしい景観を、今後は国の大切に守り育てることを目標に、具体的な整備方針等については、地域住民の皆さんと相談しながら、未来に誇れる地域作りを目指していきます。

また今年度からは、新旭地域のヨシ群落やエリ漁、カバタの水利用を中心とした文化的景観を新たな候補地として保存活用委員会を立ち上げ、調査研究を進めています。

浜・知内地区に残された素晴らしい景観を、今後は国の大切に守り育てることを目標に、具体的な整備方針等については、地域住民の皆さんと相談しながら、未来に誇れる地域作りを目指していきます。



▲針江大川周辺

▼親にとっては「やつと」、子どもたちにとっては「もう」が付いて終わる夏休み。夏休み前の計画や目標を見つめながら、子どもたちの「もう」の真相は如何に。もうは未だなり、未だはもうなり」という相場の格言は、転じて物事が予想通りに運ばないことのとえだそう。でも、ここに来ての「もう」の真相は如何に。「もうは未だなり、未だはもうなり」という相場の格言は、転じて物事が予想通りに運ばないことのとえだそう。でも、ここに来ての「もう」の真相は如何に。

PRINTED WITH
SOY INK
大豆インクを使用しています。